

# 静岡県三島市

〒411-0832 三島市南二日町8-35  
 担当課: 健康推進部健康づくり課  
 ☎055-973-3700 FAX055-976-8896  
<http://www.city.mishima.shizuoka.jp/>



## 本市のデータ

(1)面積 62.13km<sup>2</sup>

(2)人口 (人)

35国調	12国調	17国調	22国調	27国調
62,966	110,519	112,241	111,838	110,046
65歳以上人口比率(22国調)				26.8%

(3)世帯数

35国調	12国調	17国調	22国調	27国調
14,476	40,832	43,479	44,620	45,159

(4)沿革

昭和16年 三島町・錦田村が合併し、三島市が誕生  
 昭和29年 中郷村を編入

(5)産業構造

区分	就業人口 45国調	就業人口 17国調	就業人口 27国調
1次	3,540人 9.3%	1,462人 2.6%	1,240人 2.3%
2次	15,005人 39.4%	16,622人 29.6%	14,532人 26.8%
3次	19,553人 51.3%	37,644人 67.1%	36,726人 67.6%
計	38,098人	56,142人	54,290人

## 本市の概要

三島市は静岡県の東部、富士伊豆箱根国立公園の玄関口に位置し、その昔は伊豆一ノ宮としての三嶋大社や伊豆の国府が置かれ、江戸時代には東海道五十三次の五大宿場の一つとして賑った歴史の古いまちである。

昭和9年には東海道線三島駅が開設され本市発展の基礎となった。更に、昭和44年には新幹線三島駅が開設、現在では品川駅までの時間が35分に短縮され、伊豆・北駿の玄関口、交通の結節点として、また、県東部の中核的都市として発展してきている。

市内には世界の遺伝学界をリードする国立遺伝学研究所をはじめ、日本大学、放送大学静岡学習センターなどの施設を有し、平成22年には順天堂大学保健看護学部が開校した。

箱根西麓では、ジャガイモ、ニンジン、ダイコン等の根菜を中心とした箱根西麓野菜の農業が盛んである。

三島駅南口前にある市立公園「楽寿園」は、国の名勝天然記念物に指定され、富士溶岩流、自然林、清らかな湧水をもって名高い。また、山中地区にある「山中城跡」は国の史跡に指定され、発掘調査の成果により忠実に復元された全国的にも稀有の山城である。平成18年には「日本100名城」に選定され、地域を代表する文化遺産として、毎年市内外から多くの方が訪れている。



三島市のマスコットキャラクター  
「みしまるくん・みしまるごちゃん」

## 支援に向けての取り組み状況

### <対策の方針・目標>

三島市では、あらゆる分野に健康の視点を取り入れるスマートウエルネスみしまを推進し、市民一人ひとりが「健やかで幸せ」と感じられる“健幸都市”の実現を目指している。  
 市民の健康づくりの指針「三島市健康づくり計画」(平成24年策定)において、7つの健康分野の一つを「こころの健康」とし、自殺予防の取り組みを進めてきた。さらに、平成28年の自殺対策基本法改正を受け、「いのちを支える三島市自殺対策計画」を策定した。  
 この計画では、市が実施すべき施策を体系化し、既存の事業を最大限に活かして対策を計画的に進めるとともに、国、県、市、関係団体、企業、市民等が一体となり連携・協働して全市的に「生きることの包括的支援」を推進し、理解と関心を深め、誰も自殺に追い込まれることのない三島市の実現を目指す。

## <具体的な取組み>

### (1) 自殺予防対策に係る体制整備

- 平成24年1月 自殺対策庁内連絡会設置 (H23年度10課→R1年度 19課)  
平成30年4月 地域自殺対策計画の策定・推進体制整備のため、設置要綱改正
- 平成30年4月 三島市自殺対策計画策定委員会設置し、全庁的な取り組みとして計画を検討。
- 平成31年3月 「いのち支える三島市自殺対策計画」策定。
- 令和元年10月 いのち支える三島市地域ネットワーク会議設置、会議開催に向け準備中。

### (2) 自殺対策を支える人材の育成

- 平成23年度～ゲートキーパー養成研修開催。
- 平成27年度～ 市職員全員を対象としたゲートキーパー養成研修開催開始。  
対象:保健委員会、民生児童委員、町内別相談会、保健委員OB、いきがい教室、警察職員、三島地区学校・警察連絡協議会、企業、大学保健科学生、高校生、福祉事業所等  
実績:H23年度～H30年度 延11,104人(市職員含む)  
H24年度 ゲートキーパー養成用リーフレットを作成、使用開始。

### (3) 自殺予防普及啓発

- 平成21年6～9月 睡眠キャンペーンを実施
- 平成21年～ 広報、町内回覧、庁内掲示板等での情報掲載、普及啓発開始。
- 平成22年度～ 自殺対策強化月間 FMボイスキューでの情報提供開始。
- 平成23・24年度 保健委員会活動テーマに『こころの健康』として、重点的に活動
- 平成25年度～ 自殺予防週間街頭キャンペーン  
静岡県と共催で平成25年度から自殺予防週間に合わせて三島駅利用者対象に実施中。
- 平成27・28年度 健幸鑑定団(自殺予防普及啓発)を、日本大学国際関係学部・短期大学部学園祭に合わせて実施。
- 平成29年度～ 自殺対策強化月間にあわせ、図書館でこころの健康のコーナーを設置開始。

### (4) 研修・講座・講演会

- 平成20年度 介護予防研修会「うつ傾向のある高齢者への関わり方、職場のメンタルヘルスについて」(対象:介護保険関係事業所職員)
- 平成21年度～ 精神保健講座
- 平成21年度 地域包括支援センター職員研修「うつ予防について」
- 平成23年度 健康づくり講演会「こころが元気!体が健康!～睡眠を科学する～」
- 平成24年度 地域健康サポーター研修会「うつ病の理解と対応～今、あなたにできること～」
- 平成25年度 食育・こころの健康づくり講演会「こころの健康」～食事であつを予防する～
- 平成26年度 食育・こころの健康づくり講演会「"こころ"を癒す食卓」
- ※ 市内の各種団体からの要請等により、要望に応じた心に関する講座を実施。  
H30年度実績:8回 459人

### (5) 若年層対策

- 普及啓発用リーフレットの作成、配布  
配布先:市内小中学校児童生徒、日大三島高校・中学校小中学校、市内高等学校、市内大学・短期大学部他
- 平成27・28年度 健幸鑑定団(自殺予防普及啓発)を、日本大学国際関係学部・短期大学部学園祭に合わせて実施。(再)
- SOSの出し方に関する講座の実施(中学校・再)  
H30年度実績:1回 295人

### (6) 生きることの促進要因への支援

- 平成22年度～ 精神保健福祉連絡会開催(スムーズな連携のため情報交換及びケース連絡等)  
月1回 保健所、市健康づくり課、障害福祉課、相談支援事業所(平成23度～)
- 関係機関との連携  
ゲートキーパーリーフレット、相談先一覧リーフレットを配布し、活用を依頼。  
三島市医師会、三島市薬剤師会、三島市生活相談支援センター、ハローワーク三島、市内小中高教職員、三島市産業保健センター、若者サポートステーション、総合健康センター、市内地域包括支援センター、社会福祉協議会、街中ほっとサロン等



SMART WELLNESS MISHIMA  
スマートウェルネスみしま

～みんなが幸せ、みんなが健やか、みらいにつなぐ、  
みしまのみんなで”健幸”都市づくり～